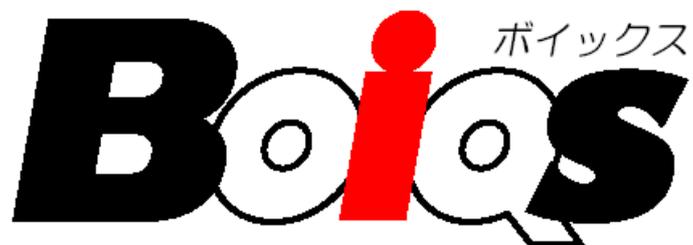


バーコード式照明点灯盤



取扱説明書

この度は、バーコード式照明点灯盤「^{ボイックス}BOIQS」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お求めの製品を正しく御使用していただく為に、この取扱説明書をよくお読み下さい。

尚、この説明書はお読みになった後、大切に保管して下さい。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は、必ずお客様にお渡し下さい

 警告

- 器具を改造しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±10%以内）・周波数以外で使用しないで下さい。火災の原因となります。
- 万一、発煙や異臭がする等の異常が出た場合はすぐに電源を切り、納入業者に修理を依頼して下さい。そのままの状態で使用を続けると火災・感電のおそれがあります。

 注意

- 一般屋外用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性のガスの発生する場所、塵埃の多い場所、塩害地域では使用しないで下さい。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度0℃～40℃、相対湿度80%以下の条件以外で使用しないで下さい。落下・感電・火災の原因となります。
- 本点灯盤の電源端子台で1線大地間に絶縁試験を行う場合、必ず操作電源を切って下さい。
- 点灯盤には寿命があります。設置してから長期間経過した場合、外観に異常が見られなくとも内部が劣化している可能性があります。定期的にメンテナンス（保守点検）を行い、不具合がありましたら修理・交換を行ってください。
- お手入れの際は、必ず電源をお切り下さい。感電の原因となります。
- ベンジン・シンナー等の薬品を用いて拭かないで下さい。表面が変色・変形することがあります。

目 次

1. バーコード式照明点灯盤「BOIQS」について	4
1. 1 製品概要と機能	4
1. 2 製品仕様	4
1. 3 システム構成図	4
1. 4 概観と各部の名称	5
2. 使用前の準備と注意事項	8
2. 1 配線について	8
2. 2 耐電圧試験を行う上での注意.....	8
2. 3 電源の投入	8
3. 操作説明	9
3. 1 照明の点灯	9
3. 1. 1 照明施設利用予約バーコードで点灯させる場合.....	9
3. 1. 2 管理者用バーコードで点灯させる場合.....	9
3. 1. 3 バックライトとバーコード読取器のフラッシュ（点滅）について.....	10
3. 2 照明の消灯	11
3. 3 対応する使用場所（パターン）が同一のバーコードについて.....	12
3. 3. 1 照明施設利用予約バーコードで先に点灯させている場合.....	12
3. 3. 2 管理者用バーコードで点灯させている場合.....	12
3. 4 強制点灯による点灯	12
4. 設定	13
4. 1 設定の手順	13
4. 2 時計設定処理	14
4. 3 施設開放時間設定処理	15
4. 4 出力パターン選択処理	16
4. 5 主照明、終了予告、殺虫器、残置灯設定処理.....	17
4. 6 バージョン表示処理	19
5. 異常時の動作	20
5. 1 停電時の動作	20
6. 使用期間中における部品交換の必要性	21
7. 保証について	21
7. 1 保証期間	21
7. 2 保証範囲	21

1. バーコード式照明点灯盤「BOIQS」について

1.1 製品概要と機能

バーコード式照明点灯盤「^{ボイックス}BOIQS」は2次元バーコードを使用した照明点灯盤です。付属の照明バーコード発行ソフトにて発行した2次元バーコード「照明施設利用バーコード」をバーコード読取器にかざすことで照明の点灯・消灯を制御することが出来ます。

※照明バーコード発行ソフトによるバーコード発行等については、別紙「照明バーコード発行ソフト取扱説明書」をご参照下さい。

2次元バーコード



◆途中消灯機能

利用終了時間前でも途中で照明を消灯させることが出来ます。

◆設定機能

本点灯盤の現在時刻や施設開放時間等を設定することが出来ます。

◆強制点灯機能

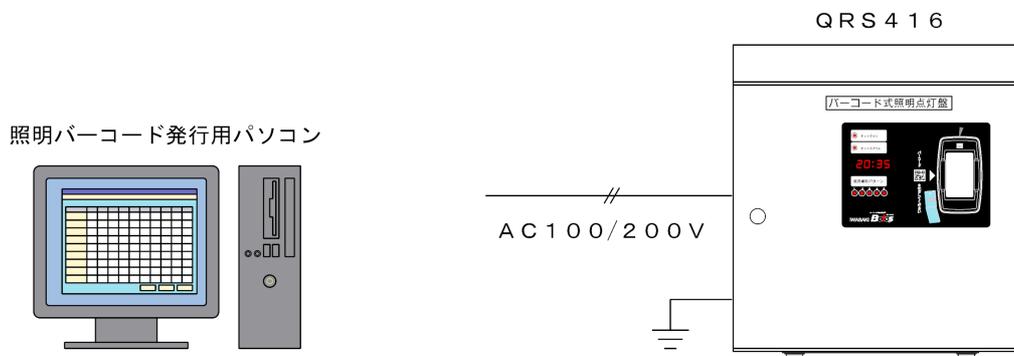
バーコードを使用しなくとも照明を強制的に点灯させることが出来ます。

1.2 製品仕様

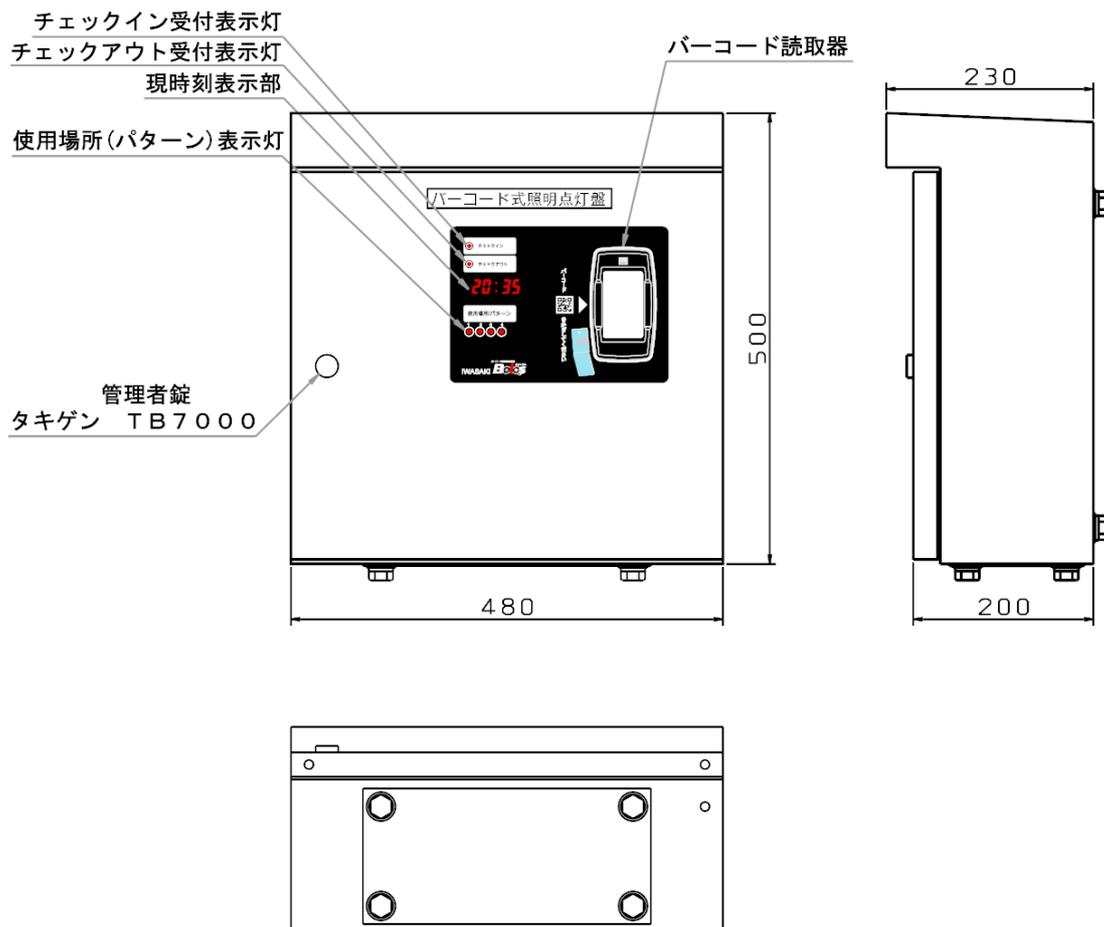
製品型式	QRS416
入力電圧	100/200V, 50/60Hz
出力信号容量	2A, 200V (COS θ = 1)
出力信号回路	主照明, 終了予告, 残置灯, 殺虫器の4種類
出力コート数	最大1、2、3、4の4種類
停電補償	7日間
消費電力	31VA
重量	約22kg
使用場所	屋外型

1.3 システム構成図

本点灯盤によるシステム構成は下図のようになります。



1. 4 概観と各部の名称



■管理者錠

扉に施錠し、管理者以外開けられないようにします。

■チェックイン受付表示灯

予約内容の受け付け手続きの際に点灯します。

■チェックアウト受付表示灯

途中消灯の受け付け手続きの際に点灯します。

■現時刻表示部

現在時刻を表示します。(設定時には設定値を表示します。)

■使用場所(パターン)表示灯

使用場所(パターン)の点灯状況を確認することが出来ます。

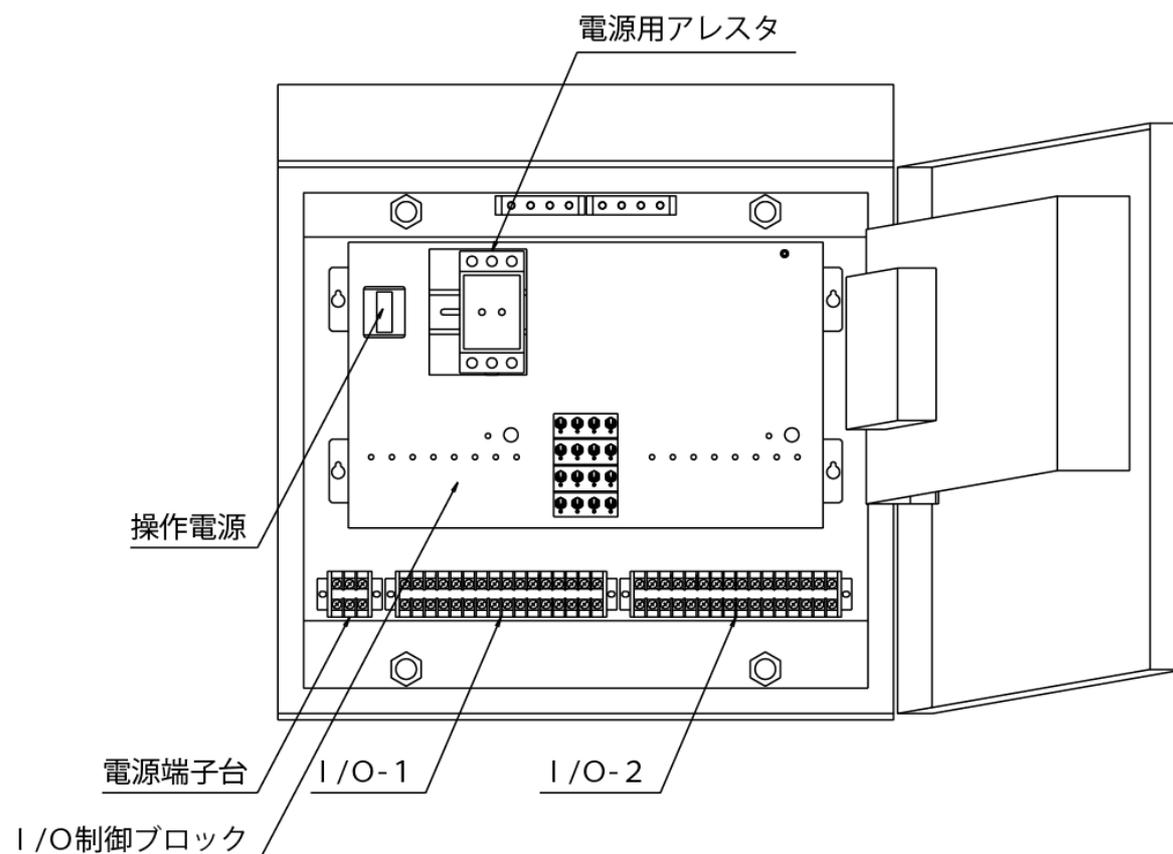
■バーコード読取器

かざすとバーコードを読取ります。

※注意

バーコード読取器は内蔵のカメラがコントラストの変化を感知してバーコードがかざされたと判断しますので、昼間や周りが暗すぎる場合は変化が感知できず反応しないことがあります。

昼間に検査等で紙に印刷したバーコードをかざす場合は、太陽光が透けてしまい反応しにくくなるため、ノート・手帳等を裏にあてて影をつくりながらかざしてください。



■ 電源端子台

電源線を接続する端子台です。

■ I/O-1、I/O-2

出力信号線を接続する端子台です。

■ 操作電源

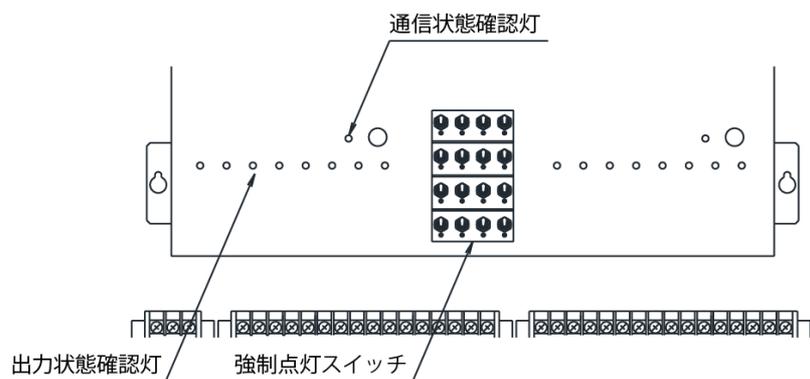
ONにすることで点灯盤が起動します。

■ 電源用アレスタ

電源線から侵入する誘導雷から点灯盤を守ります。

■ I/O制御ブロック

I/O制御基板が内蔵されています。



■通信状態確認灯

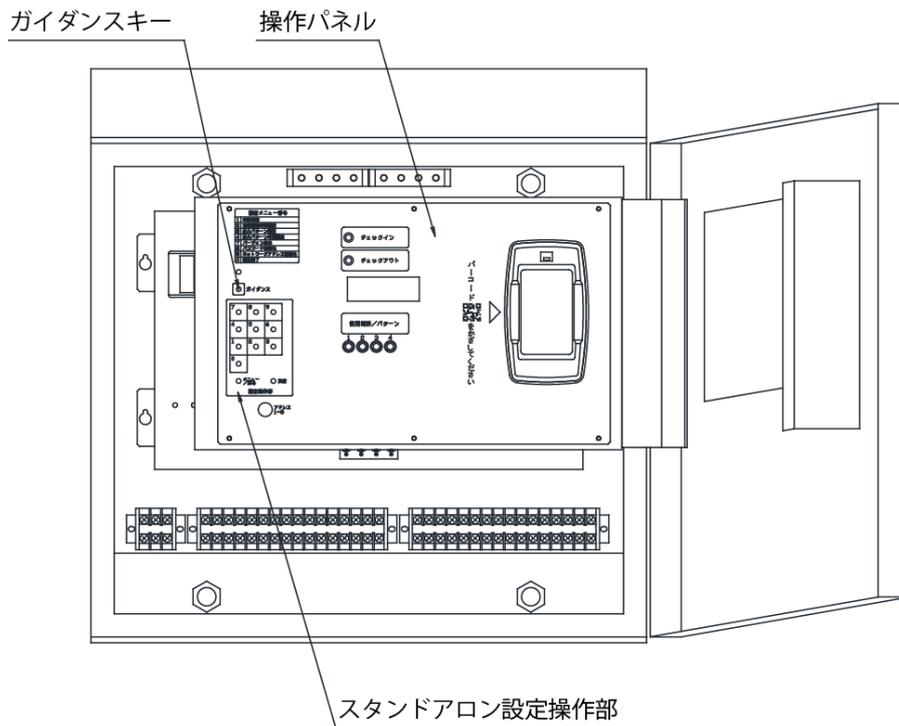
他の基板との通信状態を確認することができます。

■出力状態確認灯

I/O制御基板の各出力の出力状態を確認することができます。

■強制点灯スイッチ

強制的に使用場所（パターン）を点灯させることができます。



■設定操作部

設定を行う際に操作します。

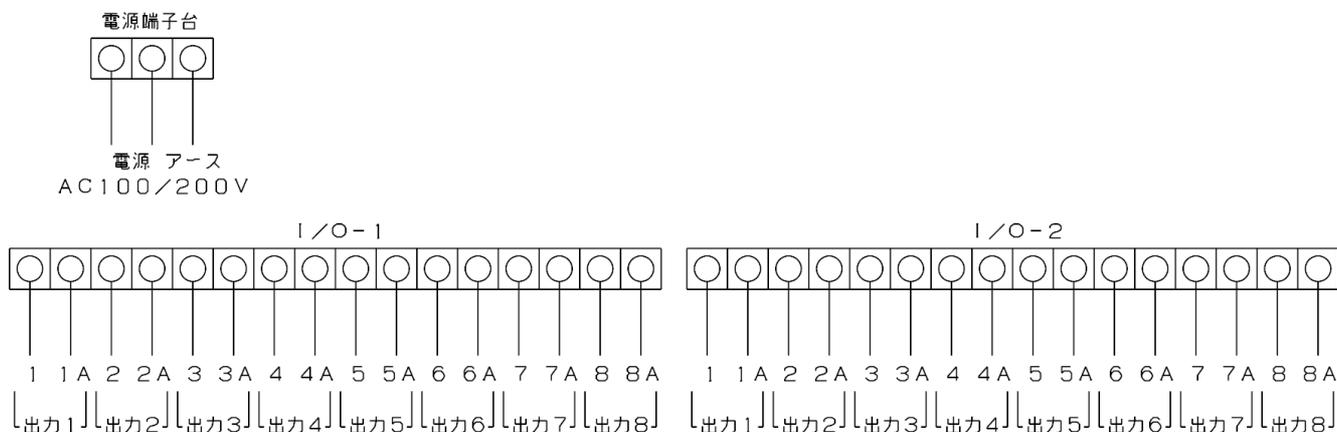
■ガイダンスキー

設定時の音声ガイダンスを再度聞きたい場合に押して下さい。

2. 使用前の準備と注意事項

2.1 配線について

点灯盤内の端子台に下図を参考にして電源線、出力信号線を接続して下さい。本体アース端子は、必ずD種接地工事を施工して下さい。



使用場所（パターン）と出力の関係は下表の通りです。

	I/O-1								I/O-2							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
	主照明 1	終了予告 1	殺虫器 1	残置灯 1	主照明 2	終了予告 2	殺虫器 2	残置灯 2	主照明 3	終了予告 3	殺虫器 3	残置灯 3	主照明 4	終了予告 4	殺虫器 4	残置灯 4
使用場所（パターン） 1	○	○	○	○												
使用場所（パターン） 2					○	○	○	○								
使用場所（パターン） 3									○	○	○	○				
使用場所（パターン） 4													○	○	○	○

2.2 絶縁抵抗の測定を行う上での注意

絶縁抵抗の測定を行う際はサージアブソーバ専用アース線（緑）をサージアブソーバ専用アース端子から外し浮かせた状態で測定して下さい。電源端子とアース端子間以外は測定しないで下さい。測定器は1000Vメガーの使用は避け、500Vメガーで測定して下さい。

2.3 電源の投入

配線およびアドレスの設定が終わりましたら、電源を投入し点灯盤内の操作電源をONにして下さい。現時刻表示部に時刻が表示されることを確認して下さい。また、I/O制御ブロックの通信状態確認灯が点滅していることを確認して下さい。

3. 操作説明

照明の点灯・消灯はバーコード発行ソフトで発行したバーコードを用いて行います。本点灯盤で使用できるバーコードは下記の2種類です。照明の点灯・途中消灯はバーコードをかざすだけで行えます。

【照明施設利用予約バーコード】

施設利用者が使用するバーコードで予約した利用日時の間でのみ使用することが出来ます。

【管理者用バーコード】

管理者が使用するバーコードで利用日時に係わらずいつでも使用することが出来ます。

3. 1 照明の点灯

3. 1. 1 照明施設利用予約バーコードで点灯させる場合

照明施設利用予約バーコードで点灯させる場合は時刻が施設開放時間内かつ利用受付開始時間（利用日時の30分前）内であることを確認して下さい。

照明施設利用予約バーコードをバーコード読取器にかざして下さい(図1)。

🔊 「照明の予約内容を受けました。ご利用ありがとうございます」

※🔊マークは音声ガイダンスを表しています。

バーコード読取器が照明施設利用予約バーコードを正常に読取ると、チェックイン受付表示灯と使用場所（パターン）表示灯が点滅し、現時刻表示部には利用開始時間と利用終了時間が順に表示されます。

使用場所（パターン）表示灯の点滅が点灯に変われば受付完了です。バーコードの内容に従って照明が点灯します。

かざした時刻が利用日時になっていない場合は、利用受付開始時間内であれば予約内容の受付は完了しますが、利用日時になるまで照明は点灯しません。使用場所（パターン）表示灯がゆっくり点滅します。利用日時になると受付けた予約内容に従って照明が点灯し、使用場所（パターン）表示灯のゆっくりした点滅は点灯に変わります(図2)。

点灯時における使用場所（パターン）表示灯の点灯状態による、点灯盤と使用場所（パターン）の状態は以下の通りです(図3)。

LED	点灯盤の動作と使用場所（パターン）の状態
消灯	予約受付待機中。使用場所（パターン）は消灯状態。
点滅	予約受付完了。利用日時になるまで使用場所（パターン）は消灯状態。
点灯	予約受付完了。使用場所（パターン）は点灯状態。

3. 1. 2 管理者用バーコードで点灯させる場合

管理者用バーコードをバーコード読取器にかざして下さい。管理者用バーコードの場合はかざした時刻が施設開放時間外でも点灯させることが出来ます。利用開始時間と利用終了時間は00:00~24:00となっていますので、利用受付開始時間は関係ありません。

管理者バーコードで点灯させた場合は、使用場所（パターン）表示灯は即点灯します(図4)。

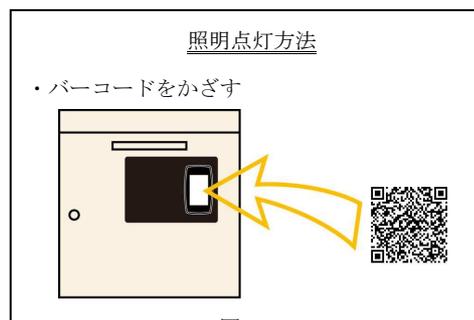


図1

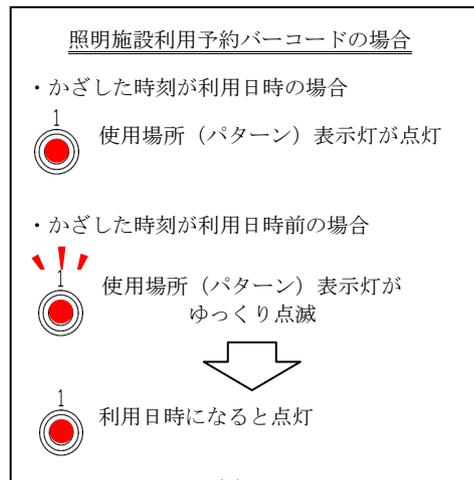


図2

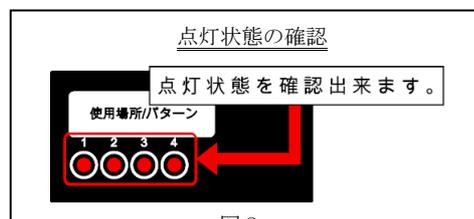


図3

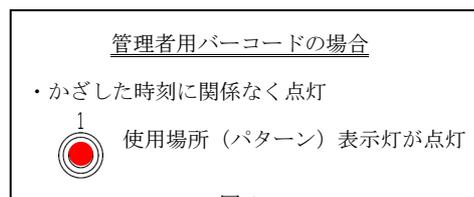


図4

3. 1. 3 バックライトとバーコード読取器のフラッシュ（点滅）について

バックライトは施設開放時間内の間だけ点灯します（図5）。施設開放時間外は消灯します。

バーコード読取器のフラッシュ（点滅）はバーコードを読取る際の明かりとなっております。バーコード読取器にはセンサーが内蔵されており、読取器の前での動きを感知するとバーコードを読取るためにフラッシュ（点滅）します。読取器の前で動きが無ければ、フラッシュは自動的に停止します。

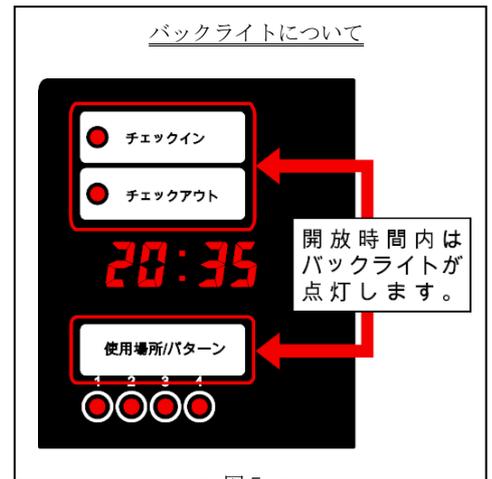


図5

3. 2 照明の消灯

照明は利用時間を過ぎると自動的に消灯します。時刻が利用終了時間になると「4. 5 主照明、終了予告、殺虫器、残置灯設定処理」の設定内容に従って、消灯動作を行います。使用場所（パターン）表示灯は点灯状態からゆっくりした点滅に変わります。主照明サービス点灯時間（終了後5分間）が経過すると使用場所（パターン）表示灯は消灯します（図6）。使用場所（パターン）表示灯は消灯しますが、殺虫器、残置灯は設定した遅延時間が経過するまで点灯を継続します。

消灯時における使用場所（パターン）表示灯の点灯状態による各照明の状態は以下の通りです。

LED	各照明の状態
点灯	主照明、殺虫器、残置灯は点灯状態。
点滅	主照明はサービス点灯中。殺虫器、残置灯は点灯状態。
消灯	主照明は消灯、殺虫器、残置灯は設定時間経過後消灯。

時刻が利用終了時間になる前に途中で消灯させる場合は点灯時に使用したバーコードが必要となります。

(1) 点灯に使用したバーコードをバーコード読取器にかざす。

点灯時に使用したバーコードをバーコード読取器にかざして下さい(図7)。

🔊) 「もう1度バーコードをかざすと、消灯いたします」

バーコード読取器が正常にバーコードを読取ると、現時刻表示部に

「— —」が表示され、チェックアウト受付表示灯と使用場所（パターン）表示灯が点滅します。

途中消灯をキャンセルしたい場合は、バーコードをかざさずにしばらくお待ち下さい。10秒程経過しますと途中消灯はキャンセルされ、現時刻表示部は時刻表示に戻ります。

🔊) 「消灯をキャンセルしました」

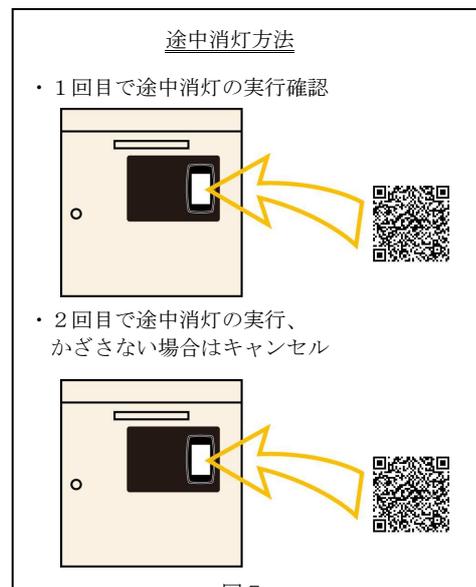
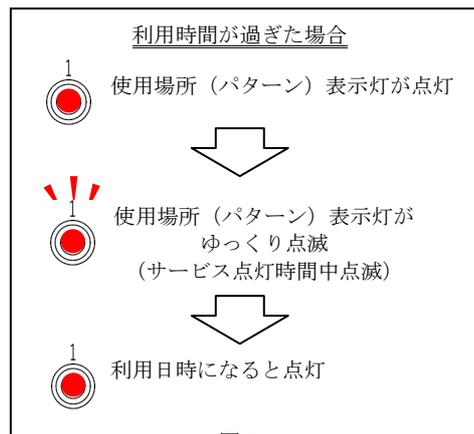
(2) 点灯に使用したバーコードをバーコード読取器にもう1度かざす。

点灯時に使用したバーコードをバーコード読取器にもう1度かざして下さい(図7)。バーコード読取器が正常にバーコードを読取ると、途中消灯が実行され現時刻表示部は時刻表示に戻ります。

🔊) 「まもなく消灯いたします。ご利用ありがとうございました」

使用場所（パターン）表示灯の点滅がゆっくりした点滅に変わり、消灯動作を行います。照明施設利用予約バーコードで途中消灯させた場合、消灯動作は利用終了時間になった場合と同じ動作です。

管理者用バーコードで途中消灯させた場合、主照明サービス点灯時間に関係無く主照明はすぐに消灯します。殺虫器、残置灯は利用終了時間になった場合と同じ消灯動作です。



3. 3 対応する使用場所（パターン）が同一のバーコードについて

対応する使用場所（パターン）が同一の照明施設利用予約バーコードと管理者用バーコードは、先に点灯させたバーコードによって動作が異なります。

3. 3. 1 照明施設利用予約バーコードで先に点灯させている場合

照明施設利用予約バーコードで先に点灯させた状態で、対応する使用場所（パターン）が同一の管理者用バーコードをかざした場合、その使用場所（パターン）を途中消灯させます。（図8（a））途中消灯は3. 2の方法と同様です。

照明施設利用予約バーコードで先に点灯させた状態で、対応する使用場所（パターン）が同一の照明施設利用予約バーコード（利用日時が異なる）をかざした場合、時刻が予約受付開始時間内であれば予約内容を受付けます（図8（b））。その後、先にかざした照明施設利用予約バーコードの利用終了時刻になっても、後にかざした照明施設利用予約バーコードの予約内容を優先して点灯を続けます。

3. 3. 2 管理者用バーコードで点灯させている場合

管理者用バーコードで先に点灯させた状態で、対応する使用場所（パターン）が同一の照明施設利用予約バーコードをかざした場合、時刻が利用日時になれば、その使用場所（パターン）は照明施設利用予約バーコードの予約内容に従って点灯を続けます（図9）。時刻が予約開始受付時間内であれば予約内容を受付、利用日時になると予約内容に従って点灯を続けます。照明施設利用予約バーコードの利用終了時間になるとその使用場所（パターン）は消灯します。

3. 4 強制点灯スイッチによる点灯

バーコードを使用せずに各照明を強制的に点灯させることができます。点灯させるには管理者扉を開き、点灯盤内の強制点灯スイッチをONにして下さい。各スイッチと出力は下記のように対応しています（図10）。

【I/O-1出力1～4、使用場所（パターン）1】

I/O-1の出力1、出力2、出力3、出力4

【I/O-1出力5～8、使用場所（パターン）2】

I/O-1の出力5、出力6、出力7、出力8

【I/O-2出力1～4、使用場所（パターン）3】

I/O-2の出力1、出力2、出力3、出力4

【I/O-2出力5～8、使用場所（パターン）4】

I/O-2の出力5、出力6、出力7、出力8

強制点灯を解除する場合は強制点灯スイッチをOFFにして下さい。

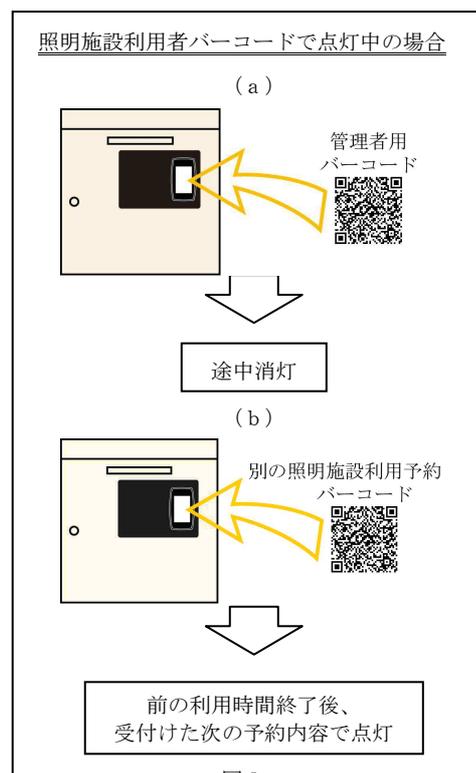


図8

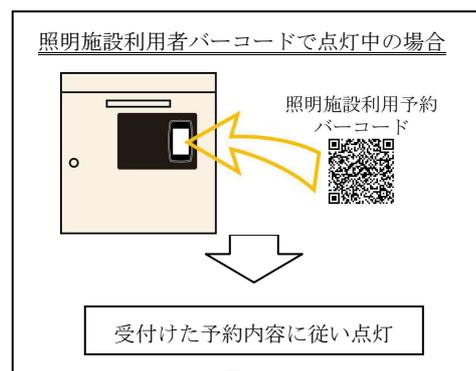


図9

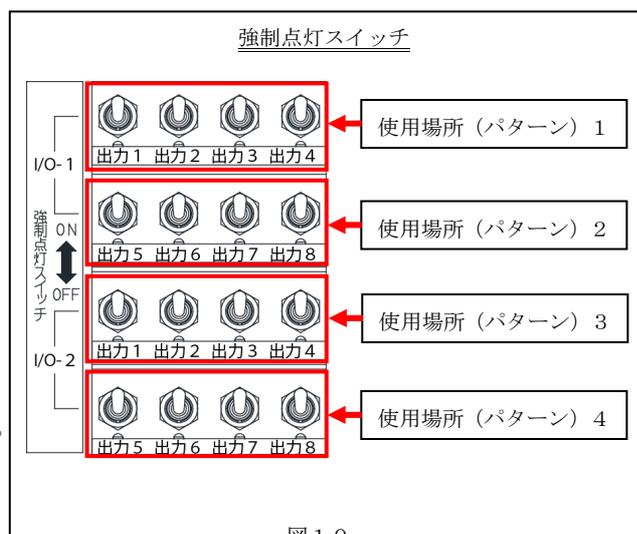


図10

4. 設定

本点灯盤は設定操作部から設定を行うことが出来ます。照明の点灯中は設定を行うことが出来ません。照明を消灯させてから設定を行って下さい。

4. 1 設定の手順

設定を行うには通常動作時(現在時刻表示部が時計表示の時)に設定操作部(図1)の“メニュー/戻る”キーを押して下さい。“メニュー/戻る”キーを押すと音声ガイダンスが流れます。現時刻表示部が「— —」表示となり設定メニューに切り換ります(図2)。

🔊 「メニュー番号を入力して下さい」

設定したい項目のメニュー番号を番号キーで入力し、“決定”キーを押すと各設定処理に移行します。音声ガイダンスに従って設定値を入力して下さい。音声ガイダンスを再度聞きたい場合は“ガイダンス”キーを押して下さい。

設定メニュー構成

設定メニュー

—【1】	時計設定処理	現在時刻の設定
—【2】	施設開放時間設定	施設開放時間の設定
—【3】	出力パターン設定	出力パターンの選択
—【4】	出力パターン時間設定	出力タイムチャートの設定
—【7】	バージョン表示	点灯盤のバージョン表示
—【0】	設定終了	設定の終了

【 】内の数字はメニュー番号

各設定処理にて設定が完了すると、「設定が完了しました」と音声ガイダンスが流れます。このとき、入力した設定値が既存の設定値に上書きされます。設定値が上書きされる前であれば、設定処理の途中で設定をキャンセルすることが出来ます。設定処理をキャンセルする場合は、“メニュー/戻る”キーを押して下さい。入力した設定値は無効になり、現時刻表示部は設定メニューに戻ります。また1分間何も入力しなかった場合も設定処理をキャンセルし、設定メニューに戻ります。

設定を終了し通常動作に戻る場合は“0”キー(設定終了)を押して下さい。

🔊 「設定を終了します、決定キーを押して下さい」

“決定”キーを押すと通常動作に戻り現時刻表示部は時計表示に戻ります(図3)。また設定中に1分間何も入力しなかった場合も設定メニューを終了し、通常動作に戻ります。

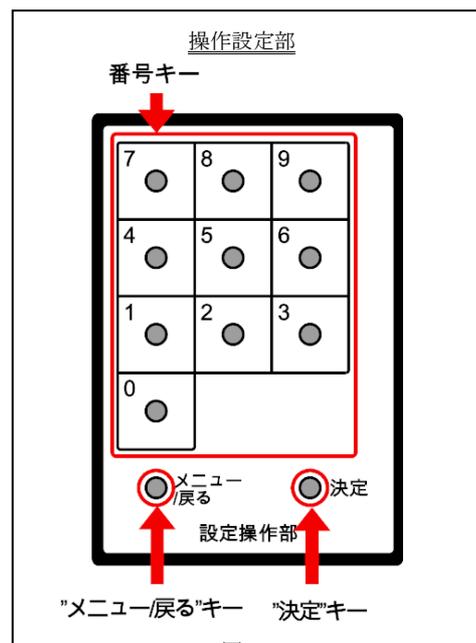


図1

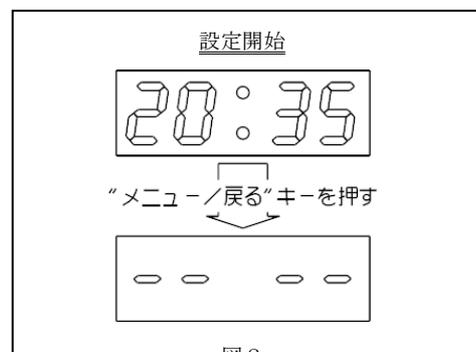


図2

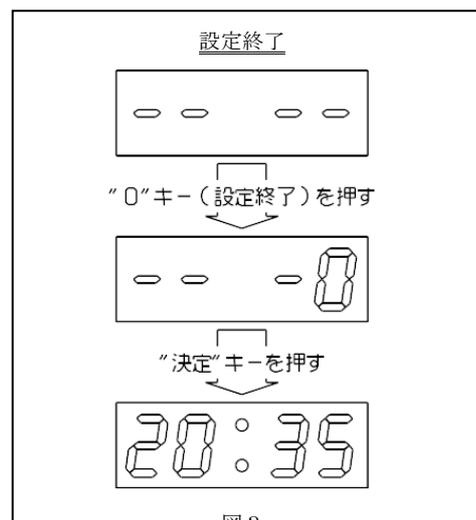


図3

4. 2 時計設定処理

本点灯盤の年月日、現在時刻を設定します。

(1) 設定メニューで“1”キーを押す。

🔊 「時計設定処理に移行します、決定キーで次に進んで下さい」

(2) “決定”キーを押す

“決定”キーを押すと時計設定処理に移行し、現時刻表示部には現在設定されている西暦が表示されます。

🔊 「西暦を4桁入力し、決定キーを押して下さい」

(3) 番号キーで西暦を4桁入力する。

現在表示されている西暦を変更する場合は、番号キーで西暦を4桁入力し“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して次に進んで下さい。

(4) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと西暦の入力は終了し、時刻表示部には現在設定されている月が表示されます。

🔊 「月を2桁入力し決定キーを押して下さい」

(5) 番号キーで月を2桁入力する。

現在表示されている月を変更する場合は、番号キーで月を2桁入力し“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して次に進んで下さい。

(6) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと月の入力が終了し、時刻表示部には現在設定されている日にちが表示されます。

🔊 「日にちを2桁入力し決定キーを押して下さい」

(7) 番号キーで日にちを2桁入力する。

現在表示されている日にちを変更する場合は、番号キーで日にちを2桁入力し“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(8) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと日にちの入力が終了し、時刻表示部には現在表示中の時・分が表示されます。

🔊 「時、分を4桁入力し決定キーを押して下さい」

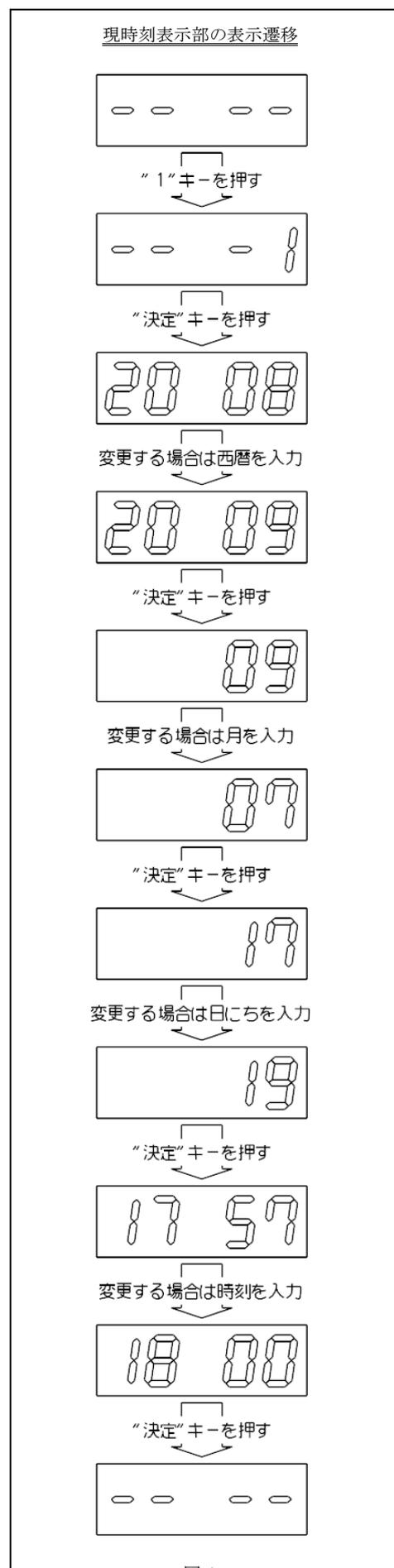
(9) 番号キーで時分を4桁入力する。

現在表示されている時・分を変更する場合は、番号キーで時・分を4桁入力し“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(10) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと時・分の入力が終了し、時計設定処理が完了します。現時刻表示部は設定メニューに戻ります。

🔊 「設定が完了しました」



4. 3 施設開放時間設定処理

施設開放時間を設定します。

(1) 設定メニューで“2”キーを押す。

🔊 「施設開放時間設定処理に移行します。決定キーで次に進んで下さい」

(2) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと施設開放時間設定に移行し、時刻表示部には現在設定されている施設開始時間が表示されます。

🔊 「施設開放時間を時・分の4桁で入力し決定キーを押して下さい」

(3) 番号キーで時・分の4桁を入力する。

現在表示されている施設開放時間を変更する場合は、番号キーで時・分を4桁入力して“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(4) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと施設開放時間の入力が終了し、現時刻表示部には現在設定されている施設終了時間が表示されます。

🔊 「施設終了時間を時・分の4桁で入力し、決定キーを押して下さい」

(5) 番号キーで時・分の4桁を入力する。

現在表示されている施設終了時間を変更する場合は、番号キーで時・分を4桁を入力し、“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(6) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと施設終了時間の入力が終了し、施設開放時間設定処理が完了します。現時刻表示部は設定メニューに戻ります。

🔊 「設定が完了しました」

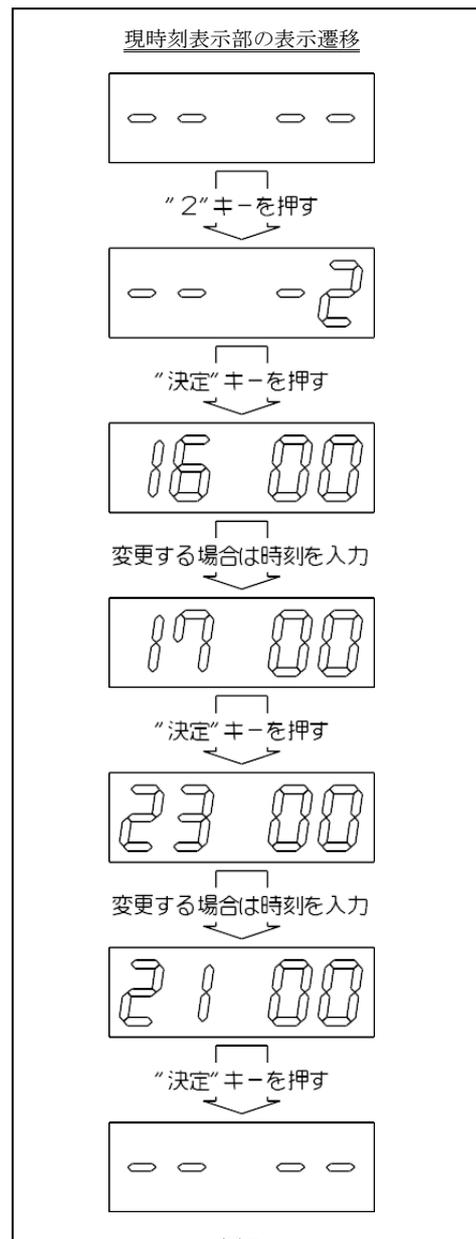


図5

4. 4 出力パターン選択処理

出力パターンを選択します。出力パターンには標準パターンAと標準パターンBがあります。パターンAとパターンBの出力パターンは下記の通りです。

【パターンA】

主照明、終了予告、残置灯、殺虫器を1組として4コート分

【パターンB】

主照明1、主照明2、終了予告、残置灯、殺虫器を1組として2コート分

(1) 設定メニューで“3”キーを押す。

🔊 「出力パターン選択処理に移行します。決定キーで次に進んで下さい」

(2) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと出力パターンの選択設定に移行し、現時刻表示部には現在選択されているパターン“1”または“2”が表示されます。

🔊 「標準パターンAは1をBは2を選択し、決定キーを押して下さい」

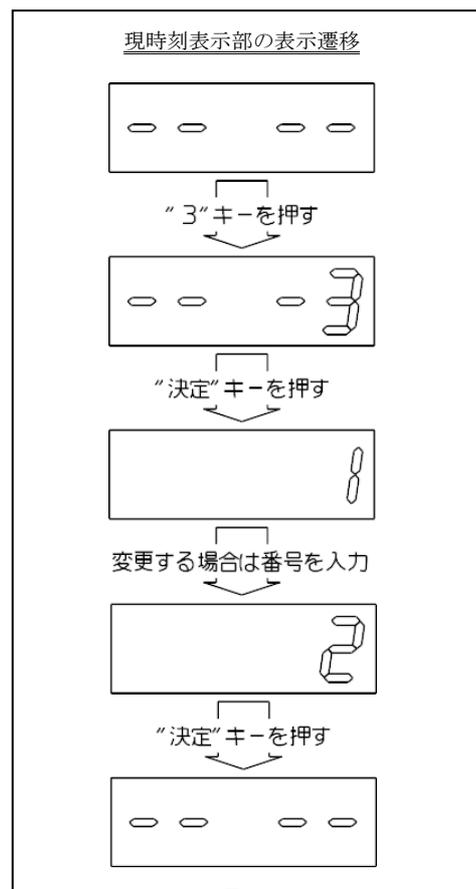
(3) 番号キーで1または2を入力する。

現在表示されている設定を変更する場合は、“1”キーまたは“2”キーを押して選択して押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(4) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すとパターン選択の入力は終了し、出力パターンの選択処理が完了します。現時刻表示部は設定メニューに戻ります。

🔊 「設定が完了しました」



4. 5 主照明、終了予告、殺虫器、残置灯設定処理

主照明サービス点灯時間、終了予告、殺虫器、残置灯の出力タイムチャートを設定します。

(1) 設定メニューで“4”キーを押す。

「主照明、終了予告、殺虫器、残置灯設定処理に移行します、決定キーで次に進んで下さい」

(2) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと主照明のサービス点灯時間の設定処理に移行し、現時刻表示部には現在設定されているサービス点灯時間が表示されます。

「主照明のサービス点灯時間を時・分の3桁で入力し、決定キーを押して下さい」

(3) 番号キーで主照明のサービス点灯時間を入力する。

現在表示されているサービス点灯時間を変更する場合は、番号キーで時・分の3桁を入力し、“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(4) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すとサービス点灯時間の入力が終了し、時刻表示部には現在設定されている終了予告開始時間が表示されます。

「終了予告開始時間を時・分の3桁で入力し、決定キーを押して下さい」

(5) 番号キーで終了予告開始時間を入力する。

現在表示されている終了予告開始時間を変更する場合は、番号キーで時・分の3桁を入力し、“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(6) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと終了予告開始時間の入力が終了し、時刻表示部には現在設定されている終了予告出力時間が表示されます。

「終了予告出力時間を分・秒の4桁で入力し、決定キーを押して下さい」

(7) 番号キーで終了予告出力時間を入力する。

現在表示されている終了予告出力時間を変更する場合は、番号キーで時・分の4桁を入力し、“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(8) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと終了予告出力時間の入力が終了し、時刻表示部には現在設定されている殺虫器サービス点灯時間が表示されます。

「殺虫器サービス点灯時間を時・分の3桁で入力し、決定キーを押して下さい」

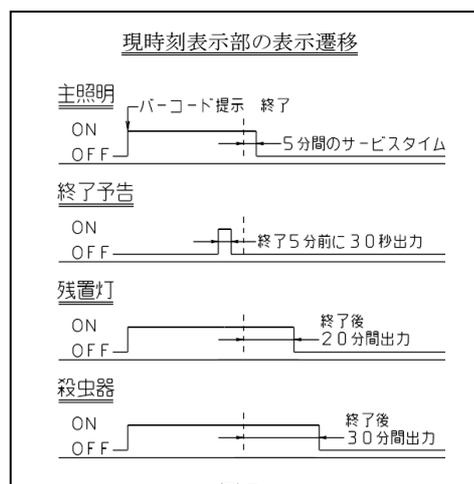


図 7

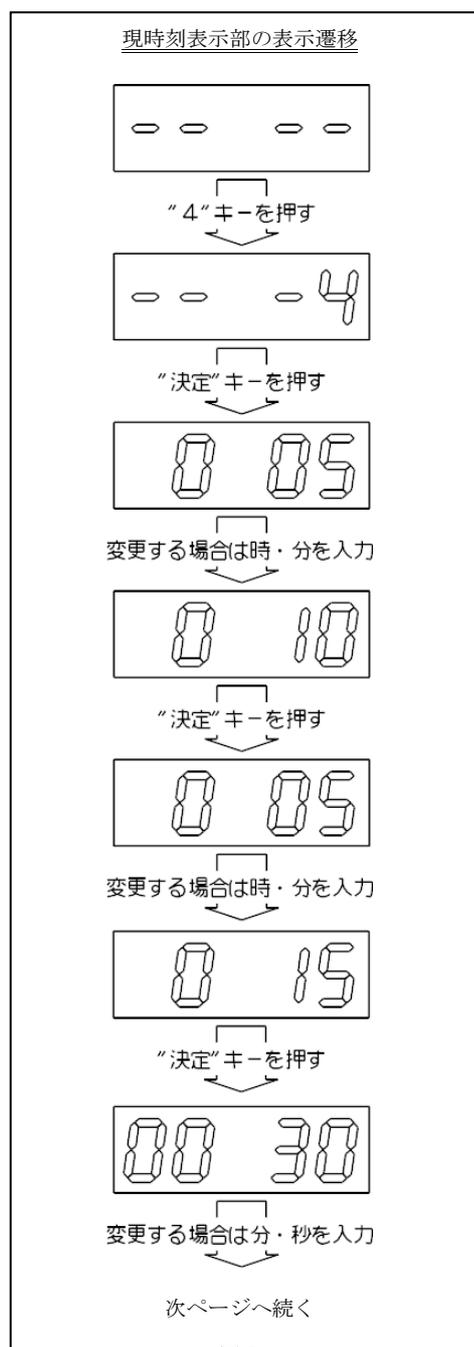


図 8

(9) 番号キーで殺虫器サービス点灯時間を入力する。

現在表示されている殺虫器サービス点灯時間を変更する場合は、番号キーで時・分の4桁を入力し、“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(10) 決定キーを押す。

“決定”キーを押すと殺虫器サービス点灯時間の入力終了し、時刻表示部には現在設定されている残置灯サービス点灯時間が表示されます。

🔊 「残置灯サービス点灯時間を時・分の3桁で入力し、決定キーを押して下さい」

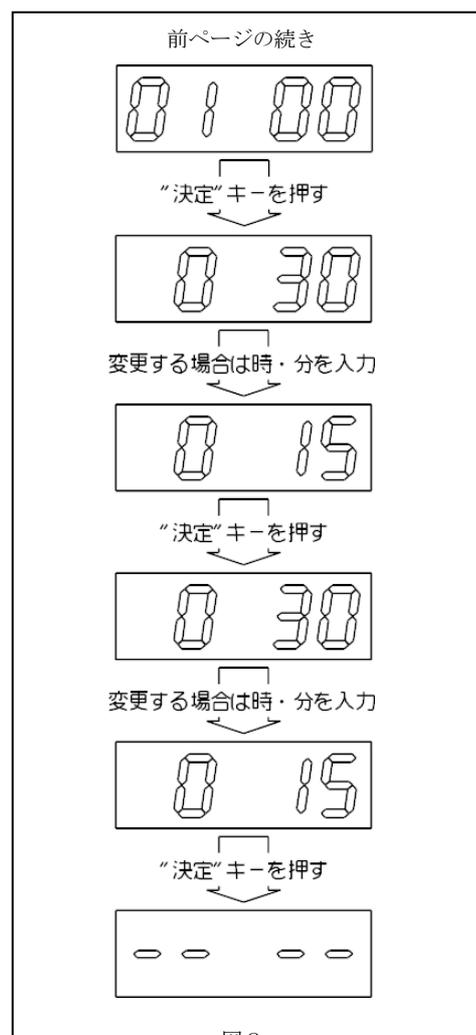
(11) 番号キーで残置灯サービス点灯時間を入力する。

現在表示されている残置灯サービス点灯時間を変更する場合は、番号キーで時・分の3桁を入力し、“決定”キーを押して下さい。変更しない場合は何も入力せず“決定”キーを押して下さい。

(12) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと残置灯サービス点灯時間の入力終了し、主照明、終了予告、殺虫器、残置灯設定処理が完了します。現時刻表示部は設定メニューに戻ります。

🔊 「設定が完了しました」



4. 6 バージョン表示処理

本点灯盤の制御サーバー、操作盤クライアントのバージョンを表示します。

(1) 設定メニューで“7”キーを押す。

🔊 「バージョン表示処理に移行します、決定キーで次に進んで下さい」

(2) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すとバージョン表示処理に移行し、現時刻表示部に現在の制御サーバーのバージョンが表示されます。

🔊 「制御サーバーのバージョンを表示しています」

(3) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと制御サーバーのバージョン表示が終了し、現時刻表示部には現在の操作盤クライアントのバージョンが表示されます。

🔊 「操作盤クライアントのバージョンを表示しています」

(4) “決定”キーを押す。

“決定”キーを押すと操作盤クライアントのバージョン表示が終了し、バージョン表示処理が終了します。現時刻表示部は設定メニューに戻ります。

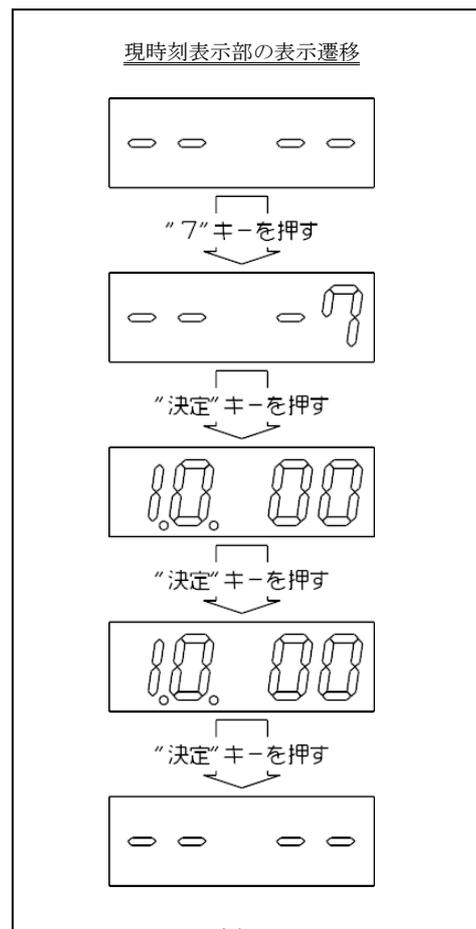


図9

5. 異常時の動作

5.1 停電時の動作

ご利用中に停電が発生した場合、出力は全てOFFします。復電後は電源投入時の状態となり、照明は点灯しません。利用時間内であれば、もう1度バーコードをかざすことで再点灯させることができます。

停電時の時計保持期間は約7日間です。7日間を過ぎた場合は再度設定して下さい。

5.2 エラーコード表

コード	音声ガイダンス	エラー内容・処置
E r 0 0	・ご利用できない照明パターンです。 係員へご連絡下さい。	・点灯盤と照明バーコード発行ソフトのパターン数の設定値が異なります。営業所へご連絡下さい。
E r 0 1	・この施設のバーコードではありません。 内容をご確認下さい。	・照明バーコード発行ソフトで発行された正規のバーコードではありません。正規のバーコードをご使用下さい。
E r 0 2	・受付時間になっていません。 予約内容をご確認下さい	・利用受付開始時間外です。利用日時の30分前になるまでお待ち下さい。
E r 0 3	・予約時間を過ぎています。 予約内容をご確認下さい。	・利用日時を過ぎています。利用日時内にご利用下さい。
E r 0 4	・予約内容が重なっています。 係員へご連絡下さい。	・同じ予約内容のバーコードで既に点灯されています。 予約状況をご確認下さい。 ・ご予約の使用場所（パターン）と同時に点灯できない使用場所（パターン）が既に点灯されています。
E r 0 5	・この施設のバーコードではありません。 内容をご確認下さい。	・利用施設が違います。利用施設をご確認下さい。
E r 2 0	・現在スタンドアロン設定は実行できません。	・照明点灯中は設定を実行できません。全ての使用場所（パターン）を消灯させてから実行して下さい。

6. 使用期間中における部品交換の必要性

この商品の内蔵部品は精密機械で構成されています。これらには寿命があるため、ご使用期間中に部品をご購入いただき、交換していただく必要があります。部品交換の寿命の目安は、下表の交換部品一覧をご参照下さい。（部品交換に必要な費用は、お客様のご負担になります。）

交換部品一覧

交換部品	年数
バーコード読取器	5年
直流電源ブロック	5年
制御基板	5年
I/O制御基板	5年
サージアブソーバー	都度
ヒューズ	都度

7. 保証について

7. 1 保証期間

保障期間は1年です。

7. 2 保証範囲

上記保証期間中に、納入業者の責任により故障が生じた場合は、製品の故障部分の交換または修理を納入業者側の責任において行わせていただきます。

但し、次の場合を除きます。

- (1) 需要者側の不適当な取扱いならびに使用による場合。
 - ・本製品を本来の目的である照明制御以外で使用された場合。
 - ・本取扱説明書に記載されている環境・条件・操作方法の範囲を逸脱して使用された場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) メーカーの許可無く改造または修理による場合。
- (4) その他、台風・大地震・落雷・津波・洪水・大火災・紛争等の自然あるいは人為的災害による場合。

尚、ここでいう保証は納入品単品の保証を意味し、納入品の故障により誘発される損害は除きます。

また、引渡時までに実用化されていた技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合も除かせていただきます。

設定値等のメモ

接続される点灯盤の通信アドレス

	アドレス	有／無	備考（点灯盤の設置箇所等）
制御基板	1	有・無	
	2	有・無	
	3	有・無	
	4	有・無	
	5	有・無	
	6	有・無	
	7	有・無	
	8	有・無	
I/O制御基板	1	有・無	
	2	有・無	
	3	有・無	
	4	有・無	
	5	有・無	
	6	有・無	
	7	有・無	
	8	有・無	